

## 施工に際して

### ⚠ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 到着後は平坦な場所に横置き保管してください。  
縦置きは端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に扱わないでください。商品性質上、一度折れると元には戻りません。

### ⚠ 設置時の注意

- 低温ではシートが硬くなりなじみにくく、接着剤の強度も出にくいので、10℃以上での環境で施工を行ってください。
- 下地基材の不陸が表面に出やすいので、パテ処理を入念に行ってください。<sup>\*1</sup>  
ボードの継ぎ目や凹部が大きい場合には、下塗りが必要ですが、表面が平滑の場合には、下塗りを省略できる場合があります。  
表面状態をよく確認して作業を進めてください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。  
変色や変形、剥がれ、マーカーやチョークが消えなくなる等の原因になります。
- ジョイントは突き付け施工が基本です。  
厚みがあるため一般的な壁紙と比較してジョイント部分が目立ちます。  
また、ジョイント部にマーカーの消しカスやチョークの粉が入り込み、黒くなったり白くなったりする場合があります。  
その際は、P35をご参照の上、清掃をお願いします。<sup>\*2</sup>
- 施工後、表面(ホワイトボード・黒板面)に付着した接着剤等の汚れは、完全に拭き取ってください。  
汚れが残っていると筆記後消えなくなる場合があります。
- 下記の一覧表は、一般的な下地の状況に応じた参考資料です。  
施工に関しては、基材の状態を確認し、できれば試験施工をされる事をおすすめいたします。  
各パテ、接着剤等の使用方法については、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

\*1 お絵描きスクリーンについては、パテ処理をしても、基布(メリヤス)の目が表面に現れることがありますが、下地不良による不陸ではありません。

\*2 ホワイトボードマーカー・チョークの選定はP35をご参照ください。

### ⚠ 下地調整一覧表(参考資料)

調整手順	下地	シナ合板／ラワン合板／MDF ケイカル板／モルタル面 <sup>*3</sup>	金属／プラスチック
	調整手段	◎推奨基材	○施工可能
前処理	釘・タッカーの猫頭等の処理		サビ・油脂成分・汚れの除去 表面層の確認
パテ処理	上塗り用パテ		仕上げ用パテ
サンディング	#180～#240のサンドペーパーでサンディング		
表面清掃	刷毛、ウエス等にて清掃		アルコール又はラッカー シンナーにて清掃
接着塗工	●酢酸ビニル樹脂+でんぷん系の糊(混合比9:1) <sup>*4</sup> ●ローラー塗り(下地側) ●塗布量の目安:100～120g/m <sup>2</sup>		●ゴム系速乾接着剤 ●ローラー塗り(下地側) ●塗布量の目安:200～300g/m <sup>2</sup>
推奨	●推奨:酢酸ビニル樹脂 プラソールSS (ヤヨイ化学工業(株)) 		●推奨:プラソール速乾マイルド (ヤヨイ化学工業(株)) 

\*ヤヨイ化学工業(株)の商品情報は2020.4.1現在のものにて記載しております。

\*3 上記の下地はシーラーを全面塗布してください。

\*4 接着剤の硬化を遅らせるためでんぷん糊を混ぜ合わせます。施工時の季節や気温、現場の状況により混合比は異なります。使用方法の詳細は接着剤メーカーにお問い合わせください。

### ⚠ 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のため立てかけはご遠慮ください。横置きまたは専用段ボール箱に入れてください。
- ホワイトボード・黒板面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境条件によって剥がれなくなることがありますのでご注意ください。
- シート面を硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。表面を傷つけると凹部にマーカーのインクやチョークが入り込み汚れて消えなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、良く絞り、シート全面を水拭きしてください。次に、乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- アルコールを使用するメンテナンスは水で薄めて拭き取り、乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- 表面が滑りやすいため、マグネット付けした物の落下に十分ご注意ください。

#### 【黒板ウォール】

- 新しい黒板の表面は、チョークとなじませることが必要です。(チョークとなじんでいない表面は、チョークの文字が消えにくく残ることがあります。)
- 1. 白色のチョークを横に寝かせて、表面にチョークの粉をこすりつけます。
- 2. 黒板消しで表面全体を一樣に拭いて、チョークの粉を落とします。
- 3. 更に一度「水拭き」をすると、滑らかになりやすくなります。

## 下地の種類のチェック

### 適さない下地について

- ・湿気を帯びた下地・帯びる可能性のある下地
- ・ALC躯体への直貼りはできません。
- ・RC壁面への直貼りはできません。
- ・塗装面・壁紙面・化粧面への直貼りはできません。

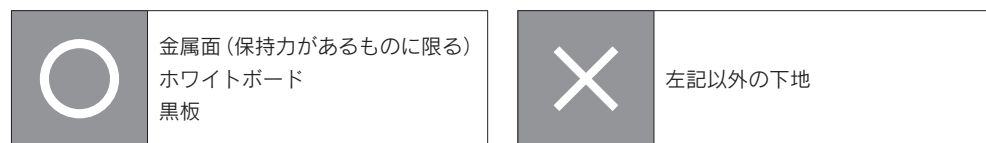
## 下地調整

- 下地は乾燥面とし、不陸・目違い・凹凸のないことを確認します。
- 下地表面のゴミ・ホコリ・汚れ・水分等、接着を阻害するものは除去します。
- 下地に動きがある場合は十分に固定します。
- 下地に不陸がある場合は、パテで調整し平滑な面をつくってください。

# マグネホワイトシート／マグネ映写シート／マグネ黒板シート

## 施工に際して

### ⚠ 下地の確認



※マグネット保持力のある下地のみ使用できます。○の場合も凹凸のない状態に限ります。

### ⚠ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、剥がれ、マーカーが消えなくなる等の原因になります。
- 巻きくせが付いている場合、貼付けた後にくせにより浮いてくる場合があります。平坦なところでくせがなくなるまで広げておくか、逆巻きにするなどして巻きくせを取ってください。特に冬期にご使用の際はご注意ください。
- 製品幅は端部(耳部分)を含んだ寸法ですので有効幅ではありません。割付けの際はご注意ください。
- 使用されない時は折り曲げず平坦な場所に置くか、筒状に丸めて保管してください。
- 細く巻いたり折り曲げると、シート表面に折り目やシワの入る可能性があります。(一度折れると元に戻りません)

### ⚠ 設置時の注意

- 凹凸や丸みがありマグネットが取付面に確実に密着しない場所・ステンレス(種類による)・アルミ・木製品等、マグネットが取り付けられない場所には貼付できません。
- パソコン、フロッピーディスク、磁気テープ等の磁気をきらうところへの使用は避けてください。
- 細心の注意を払い加工しておりますが、稀にシート端部にカットくずが付着している場合があります。拭き取ってご使用ください。
- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用は避けてください。

### ⚠ 施工後の注意とメンテナンス

- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境条件によって剥がれなくなることがありますのでご注意ください。
- 硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。表面を傷つけると傷部分にマーカーのインクやチョークが入り込み消えなくなります。
- 表面が滑りやすい素材のため、マグネットで付けた物の落下に十分ご注意ください。※ホワイトボードマーカー及びチョークの選定はP35をご参照ください。

#### 【マグネ映写シート】

- 投影した画像の品質は、下地の状態やプロジェクターの種類、投影環境によって異なり、それを見る人の主観によっても変わります。  
例えば、投影した画像が明るすぎて眩しいと感じる場合がありますので、ご使用前に投影品質を確認してください。

#### 【マグネ黒板シート】

- 新しい黒板の表面は、チョークとなじませることが必要です。(チョークとなじんでいない表面は、チョークの文字が消えにくく残ることがあります。)
  - 1.白色のチョークを横に寝かせて、表面にチョークの粉をこすりつけます。
  - 2.黒板消しで表面全体を一様に拭いて、チョークの粉を落とします。
  - 3.更に一度「水拭き」をすると、滑らかになりやすくなります。
- 書き消しの汚れがひどい場合はきれいな布を水で浸し、よく絞ったものでシート全面を優しく水拭きしてください。  
次に、乾いたきれいで柔らかい布で水分を拭き取ってください。水拭きの際は洗剤(酸性・アルカリ性・中性を問わず)を使用しないでください。

## 施工の流れ

- ⚠ **ご注意** ●商品が一般的な壁紙と比べ重いため、施工長1m未満で2人以上、1m以上は3人作業をおすすめします。  
(マグネホワイトシート約2.8kg/m<sup>2</sup>/マグネ映写シート約1.5kg/m<sup>2</sup>/マグネ黒板シート約2.4kg/m<sup>2</sup>)

### 1 マグネホワイトシート・マグネ映写シート・マグネ黒板シートが使用できる下地が確認

巻きくせが付いている場合は貼付け前に平坦なところにくせがなくなるまで置き、巻きくせをとってください。

### 2 下地の清掃・確認

使用可能下地であっても、汚れ・ホコリの付着により、付かない・付きにくい場合があります。よく絞ったタオル等で清潔な状態にしてください。  
下地は完全に乾燥させてください。

### 3 必要なかたちにカット

カッター・ハサミでカットできます。

### 4 貼付け

端から空気を抜きながら貼付けて完了です。

※ジョイントがある場合は、商品の端部をあらかじめ切り落としした上で、突き付け施工してください。(一般的な壁紙と比べジョイント部分が目立ちます)


### ⚠ ご注意


へこみ・折れがつかつとなおすことができないデリケートな商品のため、取り扱いには十分ご注意ください。


# ホワイトボードシート マグフィット

## 施工に際して

### ⚠ 下地の確認

	スチール面 樹脂面 ホワイトボード 黒板 ガラス面 化粧鋼板面
---	--

	壁紙 ※エンボス形状により、剥がれる恐れがあります。事前にサンプルにてご確認ください。
---	--

	ベニヤ 紙 汚れのついた面 石膏ボード ケイカル板
---	---------------------------------------

※吸盤効果で貼付くため、面が平滑である必要があります。○の場合も凹凸や汚れのない状態に限ります。

### ⚠ 保管時の注意

- 商品到着後、中身を確認し速やかにご使用ください。
- 到着後は平坦な場所に横置き保管してください。縦置きは端部つぶれの原因になりますので避けてください。
- 乱暴に扱わないでください。商品性質上、一度折れると元には戻りません。

### ⚠ 設置時の注意

- マグフィットの反りや曲がりを使用前に平坦なところにせがなくなるまで置き、直してください。反りや曲がりがあると貼付けた後に浮きが発生することがあります。
  - 貼付け面のホコリ、水分、油分等はきれいに拭き取った後、十分に乾燥させてください。ホコリや汚れのある場所には貼付けられません。
  - 吸盤面に貼付けてある保護フィルムを剥がして設置してください。
  - シートの端部から貼り進め、シート内の空気を逃がす様に貼ってください。何度でも貼り直しができます。シートを貼った後に、手またはやわらかい布で、シート表面から押さえると吸着が安定します。また、シートを剥す時は、シート端部からゆっくり剥がしてください。
  - マグフィットは重量が約1.6kg/mあります。貼付けや取り外し時は、足下や周囲にご注意ください。
  - 直射日光のあたる場所、火や熱源のそば、高温多湿になる場所、屋外での使用・保管は避けてください。変色や変形、剥がれ、マーカーが消えなくなる等の原因になります。
  - 剥がす際、貼る面側の素材が剥がれる場合があります。事前に目立たない場所でご確認ください。
  - 用途以外の使用は避けてください。
- ※ホワイトボードマーカーの選定はP35をご参照ください。

## 施工の流れ

### 1 マグフィットが使用できる下地が確認

巻きくせが付いている場合は使用前に平坦なところにせがなくなるまで置き、巻きくせをとってください。

### 2 下地の清掃

使用可能下地であっても、汚れ・ホコリ等の付着により、付かない・付きにくい場合があります。よく絞ったタオル等で清潔な状態にしてください。

### 3 下地を完全に乾燥させる

下地に水分があると、吸着可能下地であっても付かない・付きにくい場合があります。下地は完全に乾燥させてください。

### 4 お好きなかたちにマグフィットをカット

カッター・ハサミでカットできます。

### 5 貼付け

剥離紙を剥し、貼りたい位置に貼付ければ完了です。  
吸盤作用で貼付けるため、失敗しても何度でも貼り直せます。  
※ジョイントがある場合は、商品の端部をあらかじめ切り落としの上で、突き付け施工してください。(一般的な壁紙と比べジョイント部分が目立ちます)

### ⚠ ご注意

へこみ・折れがつくとなおすことができないデリケートな商品のため、取り扱いには十分ご注意ください。

### ⚠ 施工後の注意とメンテナンス

- 施工時の取扱いと残材の保管は、シート表面と端部保護のために立てかけないでください。横置き、または専用段ボール箱に入れてください。
- 商品性質上、一度折れると元には戻りません。
- マグネット面に表面加工された紙や平滑な紙、印刷物、塗装面等を密着させると、環境条件によって剥がれなくなることがありますのでご注意ください。
- 硬いものでこすったり、鋭利なものでひっかいたりしないでください。表面を傷つけると凹部にマーカーのインクが入り込み汚れて消せなくなります。
- 裏面のミクロ吸盤が傷むと貼付けられなくなります。
- 日常的な汚れはきれいな布を水で浸し、よく絞ったものでシート全面を水拭きしてください。次に、乾いたきれいな布でシート全面の水分を完全に拭き取ってください。
- 裏面が汚れて吸着力が低下した時は、水で濡らした布で吸着面を拭いてください。よく乾かした後、吸着力が元に戻ります。
- 表面が滑りやすいため、マグネットで付けた物の落下に十分ご注意ください。